

看護師国家試験の全体像がわかる！ 傾向がわかれば勉強も進めやすい！ 看護学校の先生からも高評価！

受講生
限定冊子



看護師国家試験対策専用冊子 傾向と対策

看護師国家試験過去3年分の出題を分野別に出題基準と照合させた一覧表とともにアドバイスや代表的な問題を掲載。問題を読み解きながら進めることで国試の出題傾向がつかめます。

出題傾向
例年よく出題される分野および設問の特徴や難易度などをまとめている。これにより、科目毎の出題のポイントが把握できる。

ここが出題
過去3年間の出題内容を出題基準と対比させ、どの問題がどの項目から出題されたかを一覧にしている。出題頻度の高い分野を一目で認識できる。

ここが出題
過去3年間の出題内容を出題基準と対比させ、どの問題がどの項目から出題されたかを一覧にしている。出題頻度の高い分野を一目で認識できる。

人体の構造と機能

出題傾向

ここ数年、【人体の構造と機能】は頻出に属している。従来通り解剖学、内科学、生理学、代謝学、薬理学、免疫学が中心に試験されているが、過去に試験された内容や新しい内容も出題されている。また、近年は「人体の構造と機能」に関する問題が増えている。この傾向を踏まえ、過去の出題内容や最新の動向を把握し、対策を立てることが重要である。

ここが出題

過去3年間の出題内容を出題基準と対比させ、どの問題がどの項目から出題されたかを一覧にしている。出題頻度の高い分野を一目で認識できる。

分野	出題頻度	出題基準
1. 解剖と組織	10/100 (10%)	1. 解剖と組織
2. 生理と代謝	10/100 (10%)	2. 生理と代謝
3. 薬理と免疫	10/100 (10%)	3. 薬理と免疫
4. 病態と診断	10/100 (10%)	4. 病態と診断
5. 看護実践	10/100 (10%)	5. 看護実践

対策
出題傾向に応じた科目ごとの学習ポイントを記載している。

出題年度を記載 2021/110回/AM26

過去問にTry

解説
★数で難易度を表示

過去問にTry
過去の出題例と解答解説を記載。本試験問題の難易度と自己の学力を確認できる。

出題傾向

ここ数年、【人体の構造と機能】は頻出に属している。従来通り解剖学、内科学、生理学、代謝学、薬理学、免疫学が中心に試験されているが、過去に試験された内容や新しい内容も出題されている。また、近年は「人体の構造と機能」に関する問題が増えている。この傾向を踏まえ、過去の出題内容や最新の動向を把握し、対策を立てることが重要である。

過去問にTry

過去の出題例と解答解説を記載。本試験問題の難易度と自己の学力を確認できる。

解説

★数で難易度を表示

過去問にTry

過去の出題例と解答解説を記載。本試験問題の難易度と自己の学力を確認できる。

出題傾向

ここ数年、【人体の構造と機能】は頻出に属している。従来通り解剖学、内科学、生理学、代謝学、薬理学、免疫学が中心に試験されているが、過去に試験された内容や新しい内容も出題されている。また、近年は「人体の構造と機能」に関する問題が増えている。この傾向を踏まえ、過去の出題内容や最新の動向を把握し、対策を立てることが重要である。

過去問にTry

過去の出題例と解答解説を記載。本試験問題の難易度と自己の学力を確認できる。

解説

★数で難易度を表示

過去問にTry

過去の出題例と解答解説を記載。本試験問題の難易度と自己の学力を確認できる。